

西日本一のブロッコリー県プロジェクト

(JA徳島市)

背景・課題

JA徳島市では、ブロッコリーを推進品目と位置付けて生産拡大に取り組む中、生産量の増加に伴い、苗の安定供給体制の確保や、氷詰め出荷能力の増強が課題となっていた。

補助内容

- ◆対象期間：平成28～29年度
- ◆補助対象：（平成28年度）育苗ハウス，定植機，製氷機，（平成29年度）育苗ハウス
- ◆補助金額：（平成28年度）975万円，（平成29年度）701万円

主な取組

- ◆育苗期の台風等の被害を軽減し，苗を安定的に供給するため，耐候性に優れたダブルアーチ構造の「育苗ハウス」を導入。

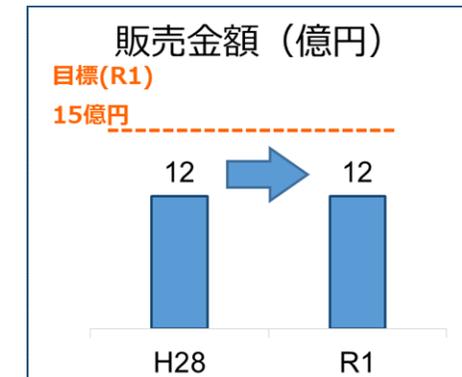
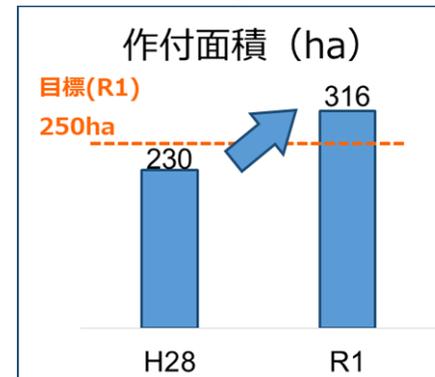


- ◆出荷輸送中の品質を保持し，市場での有利販売につながる氷詰め出荷体制を生産拡大に合わせて増強するため，「製氷機」を導入。



主な成果目標の達成状況

- ◆作付面積は，順調に拡大し，目標を大きく上回ったが，販売金額は，暖冬等の影響で単価安となり目標未達。



今後の取り組み

- ◆新規生産者の育成・確保や，導入した定植機による農作業の省力化，病虫害防除の徹底等を通して，引き続き，ブロッコリーの生産拡大を図る。